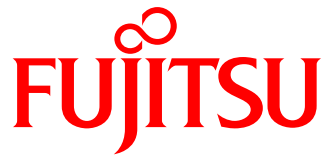


【簡易版】テレワーク環境導入のすすめ

～アフターコロナに向けた新たな働き方の実現～



■働き方改革に加えて昨今の新型コロナウイルスによる情勢の変化が相まって、多くの企業が在宅勤務をはじめとしたテレワーク環境の導入を始めています。

本資料では、テレワーク環境の導入に際して企業が抱えるお困りごとを解決するソリューションをご紹介します。

テレワークを実現する方法（自宅/外出先から社内システムにアクセスする方法）

・接続したいシステムの種類やネットワーク環境、情報システム部門の体制に応じて、接続方法の検討/選択が必要です。

方式	リモートアクセス型 (外から社内ネットワーク接続)	リモートデスクトップ型 (外から社内PCを操作)	クラウドアクセス型 (外からセキュアにクラウド環境接続)
概要	・VPN装置を社内NW内に設置し、インターネットVPNを構築し、持出PCから社内NWにアクセスする方式	・持出PCと社内PCにソフトをインストールし、持出PCから社内PCを操作（画面転送）する方式	・社内ですべてのシステムをクラウド型サービスに置き換えて、安心安全に持出PCから接続できる環境を構築する方式
メリット	・社内NWに直接接続できるため、社内PC電源ON等が不要 ・持出PCと社内PCを共用すれば、PC1人1台運用も実現可能	・画面転送方式のため、接続元端末にはデータが残らずセキュリティが安心	・短期間で環境構築が可能
懸念事項	・持出PCにデータが残るため、セキュリティ対策や私的利用への対策が必要 ・現行環境によっては既存ルータ/FW、社内システムのアクセス権限の再設定が複雑になる可能性がある	・環境構築するソリューション次第では、社内PCの電源ONをしておく必要がある ・持出PCを社給する場合、PC1人2台運用（社内/持出用）となる	・接続できるシステムが特定のSaaSのみ（オンプレ環境で構築されている社内システムへのアクセス等は別途環境構築が必要） ・持出PCにデータが残るため、セキュリティ対策や私的利用への対策が必要
こんなお客様におススメ	・社給端末であればどこからでも社内ネットワークに接続できる環境を構築したい ・PC1人1台運用にしたい	・端末にデータを残さない形で外から社内PCのデスクトップ画面や社内システムを操作したい、 ・社内PCにしかインストールされていない特別なソフト(画像処理等)を外から利用したい	・現在、クラウドで利用しているグループウェアやSFA、ファイルサーバなどを許可した端末からしかアクセスできないを構築したい

主なテレワークソリューションご紹介

【リモートアクセス型（外から社内ネットワーク接続）】

解決策	【VPN装置】社内ネットワークに簡単・安全に接続	
	Verona V-Client/V-edge ・社内ネットワークにセキュアに接続！ ・持出PCで普段と同じ社内ネットワーク環境で業務可能 ・利用者はワンクリックで社内LANへ接続（高度な知識は不要）	<参考価格> 年額 ¥89,400 / 10ID～ * 別途機器 98,000円～が必要 * 最低購入数10ID、追加10ID単位 * 既存NW機器変更が必要な場合あり

【リモートデスクトップ型（外から社内PCを操作）】

解決策	【画面転送】遠隔から安全に会社の自席PCを操作	
	Soliton SecureDesktop ・社内の自席のPCに簡単接続し画面転送で操作 ・接続元PCにはデータ保存できないのでセキュリティも安心 ・デジタル証明書による強固な端末認証	<参考価格> 年額 ¥120,000 / 10ID～ * 別途初期費用30,000円が必要 * 社内の自席PCは電源ONが必須 * ユーザ課金
	RemoteView ・社内の自席のPCに簡単接続し画面転送で操作 ・接続元PCにはデータ保存できないのでセキュリティも安心 ・ソフト不要で接続するWebビューア機能も提供！ ・オプションで自席PCの電源ONするWoL専用装置も提供可能	<参考価格> 年額 ¥120,000 / 10ID～ * WoL装置は別途36,000円/台（セグメント単位に必要） * デバイス課金

【クラウドアクセス型（外からセキュアにクラウド環境接続）】

解決策	【認証基盤】会社が許可した端末のみSaaSにアクセスさせる認証基盤	
	Verona V-Client α ・会社が許可した端末以外はアクセスを制限 ・クラウドサービスへのセキュアな接続を実現 * 一部SaaSではアクセス制限できない場合が御座います	<参考価格> 年額 ¥144,000 / 20ID～ * 別途初期費用 30,000円が必要 * 最低契約数は20ID * 追加は10ID単位

■ その他セキュリティ対策ソリューション

・安心安全なテレワーク環境を構築するためには、セキュリティ面での対策は必要不可欠です。

【ウイルス対策】テレワークにも有効なウイルス対策

解決策

ウイルスバスター ビジネスセキュリティサービス Provided by 富士通マーケティング
 ・クラウド型なので、常にセキュリティ対策が有効化！
 ・自動アップデート機能でテレワーク中も最新の安全な環境をご提供
 ・富士通マーケティングの安心のサポート窓口をセットでご提供

<参考価格>

年額 **¥57,600 / 10ID**～
 * 月額480円/ID
 * 1か月1IDから増減可
 * インターネット接続環境必須

【検疫機能】検疫機能で私物端末のセキュリティ対策状況を可視化

解決策

BSTS 資産管理

・検疫機能により接続する端末のウイルス対策/パッチ適用状況等を把握しセキュリティ事故を防ぐ
 ・端末紛失時は情報漏えいの観点からリモート消去も可能

<参考価格>

年額 **¥108,000 / 20ID**～
 * 月額450円/ID
 * 最低利用IDは20ID
 * 追加は10ID単位

【資産管理・ログ取得】資産管理・ログ取得で会社のセキュリティポリシーの順守

解決策

ISM CloudOne/SKYSEA Client View *オンプレ

・テレワーク時も各種ログ取得で、サボりや内部犯行を抑止！
 ・(SKYSEAの場合)強制VPN機能により、常に会社FW経由のインターネットアクセスなどポリシー適用の徹底が可能に！

<参考価格(ISM CloudOne)>

年額 **¥72,000 / 10ID**～
 * クラウド型、月額600円/ID
 * 最低契約数5IDから

【静脈認証搭載モバイルPC】圧倒的な軽さで働き方改革を加速させる超軽量モバイルPC

解決策

LIFEBOOK U939/C

・さっと持てる超軽量ボディ約777g、持ち運びも楽々の約15.5mm
 ・手のひら静脈センサー搭載可能パスワードの流出や盗難の心配不要
 ・外出先でも充電なしで約9.5時間*使用可能

<参考価格>

標準構成 **¥229,800 / 台**～
 * カスタマイズについては別途営業までお問合せください
 * 標準バッテリー搭載時。
 * JEITAバッテリー動作時間 (Ver2.0) に基づいて測定

本資料に記載されている他にもテレワーク関連ソリューションを多数ご用意しております。テレワーク環境の導入、更なる利便性/セキュリティ向上をご検討の際はお気軽にお問い合わせください。

【ご参考情報】IT導入補助金2020特別枠（C類型）創設について

令和2年度補正 サービス等生産性向上IT導入支援事業（IT導入補助金）特別枠（以下、「C類型」）は、昨今の新型コロナウイルス感染症が事業環境に与えた影響への対策及び同感染症の拡大防止に向け、具体的な対策（サプライチェーンの毀損への対応、非対面型ビジネスモデルへの転換、テレワーク環境の整備等）に取り組む事業者によるIT導入等を優先的に支援するために創設されたものです。

令和元年度補正のIT導入補助金(A類型・B類型)とは、制度等に一部異なる点がありますので、ご注意ください。

交付申請期間
(A/B/C類型) ※1

2020年5月11日(月) 受付開始～
2020年12月下旬

	類型	補助金申請額	補助率	プロセス数 ※2	ツール要件(目的) ※3	賃上げ目標 ※4	補助対象	
							ソフトウェア費 導入関連費等	ハードウェアレンタル 費用
通常枠	A類型	30万～150万未満	1/2	1		加点	○	×
	B類型	150万～450万以内		4		必須		
特別枠	C類型-1	30万～150万未満	2/3	1	「甲:サプライチェーンの毀損への対応」のみ導入 「乙:非対面型ビジネスモデルへの転換」、 「丙:テレワーク環境の整備」のどちらか一つ以上導入	加点	○	○
		150万～450万以内				必須		
	C類型-2	30万～300万未満	3/4			加点		
		300万～450万以内				必須		

※A/B/C類型の併用は不可。各類型の申請期間※1、プロセス数※2、ツール要件※3、賃上げ目標※4をはじめ制度内容については公式HPの公募要項をご確認ください。

※特別枠（C類型）は、5月11日(月)の公募開始以前に購入したケースでも遡及申請可能です。(2020年4月7日(火)以降が対象)

※本補助金はIT導入事支援事業者が提供し、かつ本事業において登録されたITツールのみが補助対象となります。

【IT導入補助金2020公式ホームページ】 <https://www.it-hojo.jp/>

※本ワンシートでご紹介しているサービスが上記補助金の対象となる確約ではありません。交付条件など、詳細については関係各所にお問い合わせください。

お問い合わせ先